

新潟市
新津美術館
の

美術講座

2021 → 2022

フィンレイソン ～歴史とデザイン～

2021年
8月21日〔土〕

斎藤 未希 / 当館学芸員

北欧フィンランド最古のテキスタイルブランド「フィンレイソン」は、2020年に創業200周年を迎えました。北欧の自然や多彩な文化に着想を得たデザインの魅力をご紹介します。

2021年
10月16日

〔土〕

小林 一吉 / 当館学芸員

夕映えの色彩論 ゴッホ、ゲーテ、アートセラピー

なぜ私たちは夕映えを見ると心が癒されるのでしょうか。西洋絵画にも夕映えを描いた名作はたくさんあります。クロード・ロラン、モネなど…。ここではゴッホの《夕陽と種を蒔く人》に焦点を当てながら、ゲーテの色彩論やアートセラピーにも触れたいと思います。

セメント彫刻のいろいろ ～石油探掘工夫像から抽象まで～

2021年
10月30日〔土〕

藤井 素彦 / 当館学芸員

新潟市秋葉区小口に残る《石油探掘工夫像》は、戦時下に各地で制作されたセメント製の屋外彫刻の一つです。セメント彫刻はブロンズよりも安価に、素早く制作でき、この素材ならではの表現も模索されました。戦前・戦後のセメント彫刻の面白さをご紹介します。

2022年
1月29日

〔土〕

松沢 寿重 / 当館館長

秋葉区ゆかりの阿部展也

幼少期を小須戸の母方の実家に預けられて育った阿部展也(あべ・のぶや / 1913～1971)は、正真正銘の「秋葉区ゆかりの作家」です。小須戸時代の様子を出発点に、やがて世界へと雄飛した阿部の生涯をたどります。

2022年
2月12日〔土〕

渡邊 由里 / 当館学芸員

女優 岡田茉莉子 ～木下恵介監督作品を中心に～

戦後日本を代表する女優の一人である岡田茉莉子は、戦中から戦後にかけての6年間を新潟市で過ごしました。『二十四の瞳』の監督で知られる巨匠木下恵介による岡田茉莉子主演作を中心に、映画女優としての彼女の魅力に迫ります。

2022年
2月26日〔土〕

山岸 亜友美 / 当館学芸員

描かれた子どもたち ～西洋美術編～

18世紀にJ.J.ルソーが子どもを「発見」するまで、子どもは小さな大人と見做されていたといいますが、美術の世界ではどうだったのでしょうか。古代ギリシャの陶器画から中世の聖母子像、ルネサンスのブッロー、近代から現代まで。子ども像の変遷を辿ります。

彫刻家・三木俊治と新潟の作家たち

2022年
3月6日〔日〕

奥村 真名美 / 当館学芸員

三木俊治(みき・としはる / 1945～)は、東京造形大学で教鞭を執り後進指導に努めながら、制作に励んだ彫刻家です。自身が収集し授業で活用した作品の中には、他作家の作品も見られました。三木が集めた作品の中から、岩野勇三(いわの・ゆうそう / 1931～87)など新潟ゆかりの作家についてご紹介します。

各回とも
14時より
(約90分)

当館1F
レクチャー
ルームにて

聴講無料
申込不要
(定員35名)

◎新型コロナウイルス感染予防のため、
ご理解とご協力をお願いします。

NAM
NIITSU ART MUSEUM

新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
*花と遺跡のふるさと公園内、県立植物園となり

TEL: 0250-25-1300 FAX: 0250-25-1303
http://www.city.niigata.lg.jp/nam/